

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日

上場会社名 株式会社トーカイ 上場取引所 東
コード番号 9729 URL https://www.tokai-corp.com/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅井 利明
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理・システム本部長 (氏名) 藤井 哲行 (TEL) 058(263)-5111
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2024年3月期第3四半期	103,418	6.1	5,866	5.5	6,146	7.2	4,127	△6.2
2023年3月期第3四半期	97,446	5.8	5,558	△10.0	5,735	△14.5	4,400	△1.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 4,660百万円(3.4%) 2023年3月期第3四半期 4,506百万円(6.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	117.25	—
2023年3月期第3四半期	124.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2024年3月期第3四半期	114,056	84,584	73.6
2023年3月期	110,785	82,223	73.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 83,988百万円 2023年3月期 81,654百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	21.00	—	39.00	60.00
2024年3月期	—	25.00	—		
2024年3月期(予想)				31.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	137,332	5.5	7,855	0.0	8,247	2.1	5,608	△8.2	159.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期3Q	36,041,346株	2023年3月期	36,041,346株
2024年3月期3Q	834,418株	2023年3月期	814,728株
2024年3月期3Q	35,205,103株	2023年3月期3Q	35,218,157株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

はじめに、2024年1月1日に発生しました令和6年能登半島地震により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当社グループにつきましては、被災地域におけるたんぼ薬局の店舗設備が一部損壊するなどの影響があったものの、人的支援・物的支援の継続により、年初からすべての店舗で営業ができており、被災地域の患者さまへの薬剤供給が滞ることのないよう努めております。また、国や各業界団体等からの要請に応じて、たんぼ薬局の人員を被災地域へ派遣しているほか、シルバー事業の近隣営業拠点から福祉避難所へ介護ベッドの提供などを行っております。

引き続き、医療・介護サービスの安定供給の一端を担う企業グループとして、被災地域の医療体制の維持に向けた最大限の支援を続けてまいります。

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)における当社グループは、2025年3月期までを計画期間とする中期経営計画「Challenge for the new stage!」に掲げる各種施策の推進に取り組むことで、より一層の事業成長を図ってまいりました。利益面については、各種コスト高や人手不足による影響など中期経営計画策定時点の想定と大きく異なる状況が生じておりますが、リネン類の洗濯工場における生産性向上や間接部門における業務改善の推進、お客様への適正価格でのサービス提供などにより最大限の収益確保と従業員一人当たりの付加価値向上に努めることで、中期目標の達成を目指し取り組んでおります。

2023年10月には、関東エリアの新たな基幹工場となる埼玉工場(埼玉県毛呂山町)が稼働を開始いたしました。当工場の稼働により、健康生活サービスにおいて工場立ち上げに係る一時費用や減価償却費が発生しておりますが、関東エリアにおける病院関連事業とシルバー事業の生産効率の向上及び事業拡大に取り組むことで、中長期でのさらなる成長につなげてまいります。

また、コロナ禍でも当社グループの成長をけん引してきたシルバー事業の介護用品レンタルや、病院関連事業の戦略商品「入院・入居セット」が引き続き好調に推移していることに加え、コロナ禍で厳しい環境が続いていた宿泊施設向けの寝具・リネンサプライ事業についても、観光需要の拡大に伴い順調に回復しております。さらに、人手不足を背景にリネンサプライ事業者向けの省人化設備や、手間をかけずに清潔を保つトイレ周り商品などの需要が拡大しており、「清潔と健康」をテーマとした当社グループの各事業において、お客様の課題解決に資するサービスの提供に注力しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績につきましては、売上高103,418百万円(前年同四半期比5,971百万円増、6.1%増)、営業利益5,866百万円(前年同四半期比307百万円増、5.5%増)、経常利益6,146百万円(前年同四半期比411百万円増、7.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益4,127百万円(前年同四半期比272百万円減、6.2%減)となり、売上高は過去最高を更新いたしました。

[セグメント別状況]

① 健康生活サービス

シルバー事業の介護用品レンタルや、病院関連事業の戦略商品である「入院・入居セット」の売上が好調に推移したこと、また新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けていた寝具・リネンサプライ事業の売上が観光需要の拡大に伴うホテル・旅館稼働率の回復により伸長したことに加え、クリーニング設備製造事業の売上が人手不足に起因する省人・省力化設備への投資意欲の高まりにより大幅に伸長したことから、前年同四半期比増収となりました。利益面につきましては、増収効果のほか、エネルギー価格高騰に対応したお客様との契約内容の見直しやエネルギー原単位改善等生産性向上に努めたことによる利益貢献はあるものの、コロナ禍の収束により需要が回復したことに伴うレンタル資材費の増加、事業拡大のための人件費の増加、10月から稼働した埼玉工場に係る一時費用及び減価償却費等により前年同四半期比減益となりました。

売上高	53,452百万円	(前年同四半期比	3,274百万円増、	6.5%増)
営業利益	4,667百万円	(前年同四半期比	98百万円減、	2.1%減)

② 調剤サービス

当期5店舗の出店により、154店舗の事業展開となりました。

前期に出店の4店舗を含めた新店効果による処方箋枚数の増加及び処方箋単価の上昇により前年同四半期比増収となりました。また、患者さまの利便性向上及び裾野拡大のためのLINEミニアプリの登録者数は約9万人となり順調に増加しております。利益面につきましては、薬剤師による在宅訪問サービスや、医療機関、介護福祉施設、地域包括支援センター等との連携など、かかりつけ機能の強化に継続的に取り組むことで技術料売上が増加し、前年同四半期比増益となりました。

売上高	38,922百万円	(前年同四半期比	2,048百万円増、	5.6%増)
営業利益	2,022百万円	(前年同四半期比	203百万円増、	11.2%増)

③ 環境サービス

ビル清掃管理事業が、感染対策など付加価値の高いサービスへの需要が引き続き高まる一方、コロナ病棟受託業務の減少などにより減収となったことに加え、太陽光発電の出力制御により太陽光事業が減収となりましたが、リースキン事業において非連結子会社を吸収合併したことにより、前年同四半期比増収となりました。利益面につきましては、リースキン事業における非連結子会社1社、連結子会社1社を吸収合併したことによる業務集約、効率化等の統合効果が利益に貢献しました。また、ビル清掃管理事業においては、工程改善に加え、前期に発生した新規事業所立ち上げに係る一時費用等がなくなったことにより収益性が改善したほか、前期には不動産事業においても不動産売却に伴う一時的な費用の計上があったことから、前年同四半期比増益となりました。

売上高	10,913百万円	(前年同四半期比	661百万円増、	6.5%増)
営業利益	1,041百万円	(前年同四半期比	208百万円増、	25.0%増)

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末の110,785百万円から3,270百万円増加し、114,056百万円となりました。これは、現金及び預金が6,457百万円、建設仮勘定(有形固定資産「その他」)が2,457百万円減少したものの、建物及び構築物が4,072百万円、受取手形及び売掛金が2,246百万円、機械装置及び運搬具が2,060百万円、投資有価証券が1,694百万円、棚卸資産が1,039百万円、土地が722百万円増加したことが主な要因となっております。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末の28,562百万円から909百万円増加し、29,471百万円となりました。これは、賞与引当金が1,116百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が542百万円、未払金(流動負債「その他」)が1,336百万円増加したことが主な要因となっております。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末の82,223百万円から2,361百万円増加し、84,584百万円となりました。これは、配当金の支払いによる減少が2,254百万円あったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益4,127百万円、その他有価証券評価差額金488百万円を計上したことが主な要因となっております。

この結果、自己資本比率は73.6%(前連結会計年度末比0.1%減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2023年5月11日に公表の連結業績予想を修正しております。詳細は、本日(2024年2月9日)公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,070	29,612
受取手形及び売掛金	19,071	21,317
有価証券	927	919
棚卸資産	5,424	6,463
その他	1,176	1,737
貸倒引当金	△42	△46
流動資産合計	62,628	60,003
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,051	14,123
機械装置及び運搬具（純額）	4,100	6,160
土地	11,198	11,920
その他（純額）	7,243	4,878
有形固定資産合計	32,592	37,083
無形固定資産		
のれん	268	209
その他	1,425	1,349
無形固定資産合計	1,694	1,559
投資その他の資産		
投資有価証券	7,709	9,403
繰延税金資産	1,411	1,237
その他	5,086	5,090
貸倒引当金	△336	△323
投資その他の資産合計	13,870	15,409
固定資産合計	48,157	54,052
資産合計	110,785	114,056

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,159	13,701
短期借入金	1,425	1,557
未払法人税等	1,332	483
賞与引当金	2,195	1,079
役員賞与引当金	74	56
その他	5,374	7,397
流動負債合計	23,561	24,277
固定負債		
長期借入金	530	222
繰延税金負債	165	575
役員退職慰労引当金	456	456
退職給付に係る負債	2,201	2,308
その他	1,647	1,631
固定負債合計	5,000	5,194
負債合計	28,562	29,471
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,108	8,108
資本剰余金	4,934	4,920
利益剰余金	68,715	70,604
自己株式	△1,901	△1,936
株主資本合計	79,856	81,696
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,816	2,304
退職給付に係る調整累計額	△17	△13
その他の包括利益累計額合計	1,798	2,291
非支配株主持分	568	596
純資産合計	82,223	84,584
負債純資産合計	110,785	114,056

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	97,446	103,418
売上原価	73,948	78,460
売上総利益	23,498	24,957
販売費及び一般管理費	17,939	19,091
営業利益	5,558	5,866
営業外収益		
受取利息	25	33
受取配当金	150	136
助成金収入	115	50
不動産賃貸収入	22	19
その他	167	153
営業外収益合計	481	394
営業外費用		
支払利息	21	18
貸倒引当金繰入額	200	-
損害賠償金	63	57
不動産賃貸原価	14	9
その他	6	28
営業外費用合計	304	113
経常利益	5,735	6,146
特別利益		
固定資産売却益	1,079	-
特別利益合計	1,079	-
特別損失		
固定資産除却損	96	36
減損損失	-	12
災害による損失	16	-
投資有価証券評価損	-	15
特別損失合計	113	63
税金等調整前四半期純利益	6,702	6,083
法人税、住民税及び事業税	1,827	1,541
法人税等調整額	427	375
法人税等合計	2,254	1,917
四半期純利益	4,447	4,165
非支配株主に帰属する四半期純利益	46	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,400	4,127

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	4,447	4,165
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52	489
退職給付に係る調整額	6	4
その他の包括利益合計	58	494
四半期包括利益	4,506	4,660
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,459	4,620
非支配株主に係る四半期包括利益	46	39

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	健康生活 サービス	調剤 サービス	環境 サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	50,178	36,873	10,251	97,302	143	97,446	—	97,446
セグメント間の内部 売上高又は振替高	35	2	291	329	2	332	△332	—
計	50,213	36,875	10,543	97,632	146	97,779	△332	97,446
セグメント利益	4,766	1,818	832	7,417	6	7,423	△1,865	5,558

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報提供事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,865百万円には、セグメント間取引消去△8百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,857百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記すべき事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	健康生活 サービス	調剤 サービス	環境 サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	53,452	38,922	10,913	103,288	130	103,418	—	103,418
セグメント間の内部 売上高又は振替高	38	0	354	393	2	396	△396	—
計	53,491	38,923	11,267	103,681	133	103,815	△396	103,418
セグメント利益又は損 失(△)	4,667	2,022	1,041	7,731	△7	7,724	△1,857	5,866

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報提供事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,857百万円には、セグメント間取引消去△6百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,851百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記すべき事項はありません。